

【学ぶ】 施策の柱 10

①予算事業名	文化振興事業	予算科目	10-5-3-2	基本構想上の位置づけ 上段:「島づくり目標」 下段:「施策の柱」	生涯教育の充実		
②担当部課名	教育課	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	文化・社会教育環境の充実 施策の柱10-3		
③事業内容	本町の文化振興を図るため、文化振興の活動を行っている団体へ支援を行う。また、南部連合文化協会への負担金及び文化関係の事務を行う。						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
⑤事業費 【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	財源内訳	(a) 国庫					
		(b) 県費					
		(c) 地方債等					
		(d) 一般財源	1,324,000	2,502,000	1,380,000	1,380,000	1,380,000
	計(a~d)	1,324,000	2,502,000	1,380,000	1,380,000	1,380,000	
	特定財源名	(a)または(b)の名称		(c)の名称			
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・【文化協会】平成30年度より本格的に文化協会運営がスタートする。文化協会の事務局体制を強化し、自立運営できるように支援していく。 ・【書道展】来場者数の増加を図りつつ、一般の部の出品数を増やしていけるよう検討していく。 					
	平成31年度	<ul style="list-style-type: none"> ・【文化協会】文化協会の事務局体制を強化し、自立運営できるように支援していく。 ・【書道展】来場者数の増加を図りつつ、一般の部の出品数を増やしていけるよう検討していく。 					
	平成32年度	<ul style="list-style-type: none"> ・【文化協会】文化協会と連携し、本町の文化振興を推進していく。 ・【書道展】来場者数の増加を図りつつ、一般の部の出品数を増やしていけるよう検討していく。 					
⑦成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値(37年度)
	文化協会の支援(団体補助)年間事業数3回開催(文化祭、古典民謡大会、民俗芸能発表会)	目標	()	(3回)	(3回)	(3回)	(3回)
		実績	3回				
	久米島町新春書道展の開催 来場者210名 出品数500点	目標	(200名 500点)	(210名 500点)	(220名 500点)	(230名 500点)	(250名 500点)
		実績	200名 500点				
事業成果効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月28日に、町文化協会、古典民謡実行委員会、民俗芸能保存会の3団体が統合し、新制文化協会が誕生した。古典民謡大会は29年度まで実行委員会で運営したが、30年度から本格的に3団体が統合してスタートする。すでに統合後の行事においては文化協会内での連携を図りながら進めており、反省点は運営しながら解消していくよう指導する。 ・23回目を迎えた久米島町新春書道展は、児童生徒から一般まで幅広い年代から出品され、本町の文化振興の一翼を担っている。 						
⑧写真及び図面	文化協会統合総会			古典民謡大会			
							